

美しく正しいウォーキングをサポートする

かかとへキサゴンインソール

今回見つけたアイテムは、「かかとへキサゴンインソール」というインソール。このインソールは正しい体重移動、美しいウォーキングをサポートするという。早速株式会社フットテクノを訪ねた。

「身体の重心が左右どちらかに偏っていたり、O脚や外反母趾など女性の多くが抱える悩みは、ウォーキング時、体重移動が足の外側（小指側）に掛りすぎたり、かかとに荷重が掛かり過ぎていたりといった、美しく正しいウォーキングができていないこ

とも原因があります。美しく正しいウォーキングとは、かかとで着地した後、親指の方向へ重心を移動して、親指で地面を蹴り出す、「親指蹴り出しウォーキング」です。弊社では、自然に良い姿勢で、美しく正しい歩き方ができるものを開発したいという想いから、開発に6年の歳月をかけ、辿り着いた一つの結論が「かかとへキサゴンインソール」なんです。簡単に言うと、親指蹴り出しが無理なく、無意識にできる、新発想のインソールですね」と語る、開発者でもある株式会社フットテクノ代表取締役社長の藤田 稔氏。

「親指蹴り出しウォーキング」ができるようになると、姿勢が良くなるのはもちろん、下半身の筋肉を使ったウォーキングが可能となり、筋肉が活性化されることによって、血流が促進され、ムクミの解消や冷え症改善などの効果が期待できるという。無理なく、無意識に「親指蹴り出しウォーキング」ができるという「かかとへキサゴンインソール」。商品名の通り、このインソールの裏側、かかとに当たる部分に付けられたへキサゴン、六角形のパッドに秘密があるという。

「三角形、四角形など様々な形で実験しましたが、六角形は内圧と外圧を均等に分散させる最も理想的な形だったのです。例えば、自然界においては、ハチの巣、雪の結晶などに代表され、その安定構造を利用してボルト、ナット、六角レンチなど、工業製品でも多く見られます。この内圧と外圧を均等に分散させる構造をインソールに当てはめました。インソールの裏に取り付けた六角形の特異な樹脂製パッドが、一番荷重の掛かるかかとの圧力をうまく分散し、また絶妙なパッドの装着角度で小指方向に行きがちな重心を内側、親指方向に戻すことで、「親指蹴り出しウォーキング」を可能にしたんです」とも語る藤田社長。

注目したいのは、インソールの厚み。圧迫感、違和感を感じないように、薄く作り上げたというその厚さは、わずか2ミリ。また、2ミリという厚さは、かかとの毛穴の深さと同じで、皮膚に入り込み、血流や神経を刺激し、毛細血管の血流を妨げず、適度に圧力が掛かることにより、むしろ血流の活性化が期待できるよう、巧妙に計算しつくされた厚みなのだというのだ。

「実は、かかとは全身への神経、血流のスイッチです。脚、脊髄、脳へと、全身へ繋がる末梢神経の一番先端部分がかかともなります。このかかと部分を、わずか厚さ2ミリの六角形のパッドが刺激するように開発しました」とも語る藤田社長。

六角形というカタチ・角度、2ミリという厚さ、様々な研究と試行錯誤の結果生まれた、かかたとを刺激することで美しく正しい姿勢で歩くことができる靴のインソール「かかとへキサゴンインソール」。開発過程を聞いただけでも、信頼度が高いが、フットテクノの実験では、装着前に比べ、重心の前方への移動や親指への圧力分散が実証され、さらにO脚の改善やヒックアップ効果も確認されたというから、ますます信頼度が上がる。

加えて、あらゆる靴に対応できるように、女性用はハイヒール用、ローヒール用、カジュアルシューズ用の3タイプと男性用の1タイプが用意されているという徹底ぶりも嬉しい。

歩くという事を科学するフットテクノの生み出した「かかとへキサゴンインソール」は、美しく正しいウォーキングをサポートする、緑の下の力持ちならぬ、かかとの下の力持ち“なアイテムなのかもしれない。

かかとへキサゴンインソール

価格：各種 945円（税込み）

お問い合わせ先：株式会社フットテクノ <http://foottecho.co.jp/>

住所：神戸市中央区元町通5-2-8 TEL：078-351-3113 FAX：078-366-0108

